

ステージ 10 remember が表す過去と未来！

—辞典でわかる単語特有の使い方

これまでのステージで、英単語を調べるとき、意味のほかにも重要な情報がたくさんあることがわかったね。さらに、辞典の中のいろいろなコラムに注目してみよう。中でも、その語の使い方に関する「ルール」や「くらべよう」、「トラブルスポット」だ。例えば、remember「思い出す」はその直後の動詞の形が「...ing」か「to+動詞の原形」かで過去と未来、まったく異なる意味になるのだ。調べた単語にこのようなコラムが出ていたら、必ず読んで使い方をチェックしておこう。巻末には「英文法のまとめ」ものっているよ。このように、辞典というのは使い方だけで知識の宝箱と言えるんだ。

ルール、くらべようコラム (英和辞典)

ルール remember のあとの動詞の形

1 「過去に...したことを覚えている」は「remember + ...ing」で表します。

◆I **remember seeing** her.
わたしは彼女に会ったことを覚えている。

2 「これから...することを覚えておく」「忘れずに...する」は「remember to + 動詞の原形」で表します。

◆Please **remember to see** her.
忘れずに彼女に会ってね。

508 ページ

くらべよう early と fast

early: 時刻や時期が「早い」ことを表します。

fast: 動作や速度が「速い」ことを表します。



◆She gets up **early** in the morning. 彼女は朝早く起きる。

◆Her sports car runs very **fast**. 彼女のスポーツカーはとても速く走る。

190 ページ

「ルール」ではそのことばの使い方のポイントがわかるよ。



「くらべよう」は意味の似ている語のちがいが整理されているのよ。



●辞書を引いて、次のドリルにチャレンジしましょう。

[ドリル1] 英和辞典で→のコラムを参考に、次の英文の（ ）内の適切なほうを選びましょう。

- (1) My father doesn't have (any / some) brothers. →some ルール
わたしの父には兄弟が一人もない。
- (2) I have been in London (during / for) three years. →during くらべよう
わたしはロンドンに3年いる。
- (3) I walked along a (narrow / small) mountain road. →narrow くらべよう
わたしは細い山道を歩いた。

[ドリル2] 次の日本語に対する英文には誤りがあります。英和辞典で下線部の「トラブルスポット」を参照し、正しい英文に直しましょう。

- (1) I finished to read this book. わたしはこの本を読み終わりました。
正しい文 _____
- (2) She ate three breads this morning. わたしはけさパンを3枚食べた。
正しい文 _____
- (3) He can drive a car, either. 彼も車が運転できます。
正しい文 _____

ここに注目! [トラブルスポットとは]

英和辞典では、まちがいやすいところを○×形式で説明した「トラブルスポット」というコラムがある。誤りやすい英語の弱点をアドバイスしたものだから、特に、テストなどでは力強い味方になるよ。調べた語にこのコラムがあったら、必ずチェックしておこう!

[ドリル3] 英和辞典で→のコラムを参考に、英文の空所に適切な語を書きましょう。

- (1) 彼女は6月5日の午後に到着します。→afternoon ルール
She arrives () the afternoon of June 5.
- (2) わたしは歩いて森を通りぬけた。→across くらべよう
I walked () the woods.
- (3) どの生徒も自分のペンを持っている。→each ルール
Each student () their own pen.
- (4) 昼食後テニスをしない?
How about () tennis after lunch? →how トラブルスポット